

4 足摺～南宇和

(1) 概況

本エリアは、愛媛県宇和島市、愛南町、高知県宿毛市、土佐清水市、大月町の3市2町を対象としている。

全国でも最も早く桜の開花を迎えるこの地域は、温暖な気候に加え変化に富むリアス式海岸と碧い海、かつ、風光明媚な山々に囲まれた豊かな自然財産を持つエリアである。なかでも足摺宇和海国立公園は、黒潮に洗われた隆起海岸の豪快な景観や沈降海岸の細やかな入り江と豊後水道の島々の優美な姿に魅せられて、多くの観光客や自然愛好家が訪れている。また、滑床、篠山地区などの内陸部も公園区域に指定されるなど、“海”だけではなく“山”にも魅力あふれる自然環境を持つ地域である。

参考データ

<地域構成市町別人口データ>

市町村名		人口		高齢化率 (%) (※65 歳以上)	2030 年 人口推計
		H17 年人口 (人)	H17/H12 増減率 (%)		
愛媛県	宇和島市	89,444	93.5	28.6	57,857
	愛南町	26,636	99.0	29.4	14,441
高知県	宿毛市	24,397	93.9	26.7	16,657
	土佐清水市	17,281	93.4	34.6	10,667
	大月町	6,437	92.5	35.7	3,881
計		164,195	94.4	29.3	103,503

※宇和島市（宇和島市、吉田町、三間町、津島町 H17.8.1 合併）

※愛南町（内海町、御荘町、城辺町、一本松町、西海町 H16.10.1 合併）

※2030 年人口推計（国立社会保障・人口問題研究所より）

<地域構成市町別産業構造データ（単位：人）>

市町村名		第一次産業	第二次産業	第三次産業
愛媛県	宇和島市	8,509	6,780	26,589
	愛南町	2,529	1,981	7,159
高知県	宿毛市	1,681	2,318	7,109
	土佐清水市	1,186	1,427	4,789
	大月町	856	427	1,392
計		14,761	12,933	47,038

出典：平成 17 年国勢調査

ア 地域の活動団体・施設

活動団体・施設	概 要
四国西南地域観光連絡協議会	四万十川、足摺、宇和海の観光情報(自然・歴史・文化など)を取りまとめてホームページで紹介。
幡多広域観光協議会	地域内の観光メニューの創出や、修学旅行の誘致に取り組んでいる。
大月町体験型観光受入研究会	大月町観光協会が主体となり、各分野の関係者を組織し、体験型観光プログラムの創出と受入体制整備を推進している。
土佐清水市観光ボランティア会	竜串見残しの奇岩ガイド、足摺遍路古道の整備に取り組んでいる。
足摺海洋館	「土佐の海と黒潮の魚たち」をテーマに足摺半島周辺に生息する魚類を中心に飼育展示している。
足摺海底館	海面下の海中窓から珊瑚と熱帯魚などが観察できる。
黒潮実感センター	珊瑚の問題など環境教育に積極的に取り組んでいる。

イ その他

項 目	概 要
真珠を核とした地域活性化	ANAより地域再生マネジャー(客室乗務員)を宇和島市に派遣し、日本一の真珠生産地を活かした地域振興を図っている。

(2) GGN自己評価

GGNの基準に従って、自己採点を行った結果、総合評価では46%の得点率となった。下表に得点率の概要について示す。個別の評価は、地質遺産の保存、自然文化遺産など、地域資源に関してはポテンシャルが高いという結果が出ている。

運営組織の立ち上げもしくは、関連する地域のグループとの連携が進むと、得点率が高くなる可能性がある。

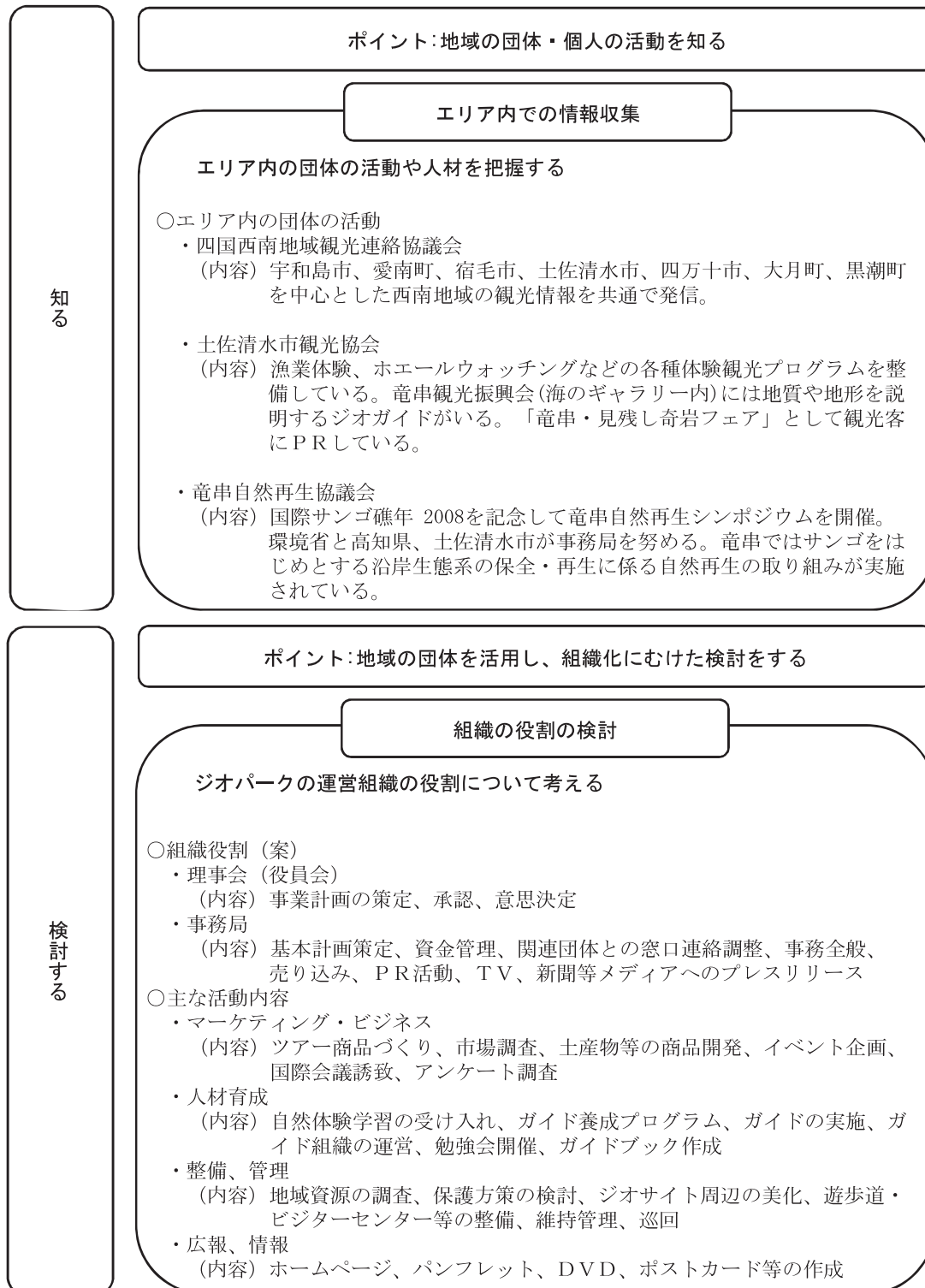
項 目	総合得点率	項目別得点率
地域	4%／ 5%	89%／100%
地質遺産の保存	14%／ 20%	71%／100%
自然文化遺産	7%／ 10%	72%／100%
運営組織	5%／ 25%	21%／100%
情報や環境教育	5%／ 15%	33%／100%
ツアー	9%／ 15%	57%／100%
地域経済の将来性	2%／ 10%	21%／100%
合 計	46%／100%	

※総合得点率：すべての項目の合計を100%とした場合の得点率

※項目別得点率：各項目を100%とした場合の得点率

(3) 組織運営計画

ア 今後の取り組み



コンセプトの創出

地域の特徴を活かしたジオパークのコンセプトを検討する

○地域イメージ

「宇和海と太平洋、2つの海と自然の恵み・先人の知恵に生きる地域」

・コンセプト

黒潮が最初に接岸する足摺地域（足摺岬、竜串、見残しなど）の雄大な景観と対をなすのが波穏やかなリアス式海岸で知られる南宇和地域である。この動と静の景観は観光客の目に新鮮に映る。

・キーワード

（地質）

- 砂岩泥岩の互層と自然の風化作用により形成された奇岩・景勝
- 花崗岩の断崖絶壁地形（大堂海岸など）
- 南宇和のリアス式海岸地形

（生態系）

- 豊富な魚類数（南方系の魚種多し）、サンゴの群生
- 亜熱帯性植物群落など

（文化・歴史）

- 黒潮の恵みに育まれた独特の漁村文化
- 沖の島（宿毛市）柏島（大月町）などの島しょ文化
- 金剛福寺など（四国八十八箇所）
- 石垣の街並み



海成段丘



竜串グラスボート



白山洞門

連携の模索

エリア内の団体・他地域との連携について検討する

○実施項目

- ・情報収集、情報共有
- ・連携した場合の相乗効果について検討

○情報収集、情報共有の方法

- ジオパークに取り組んでいる（関心のある）団体や活動について情報収集する
四国広域連絡協議会や高知県ジオパーク連絡協議会等に参加する。
- 連携が想定される団体の詳細情報を収集する
地域資源、ガイド団体、観光関連団体などについて調べる。
- 定期的なニュースレターによる情報共有
マレーシア（ランカウイ）では、構成員の知識ギャップを埋めるために定期的にニュースレターが発行された。

検討する

運営費の検討

ジオパークの運営に必要な費用について検討する

○支出

- ・人件費（事務局長、スタッフ） 約500万円～
- ・諸経費 約150万円～
 - － 勉強会開催
 - － 人材育成、ガイド養成、モニターツアー開催
 - － パンフレット、チラシ、DVD、ホームページ作成
 - － 看板、遊歩道、ビジターセンター整備・維持管理
 - － 組織・施設運営
 - － 事務費 など
- ・申請にかかる費用
 - － J G N審査にかかる費用 約20万円～
(審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し)
 - － G G N審査にかかる費用 約40万円～
(審査員の旅費・滞在費のみで審査料必要無し)
 - － G G N申請一式(現地調査、申請書作成、英訳など)を委託した場合 約200万円～

○収入

- ・ガイド収入 ガイド料
- ・会費、寄付 団体、企業、個人からの運営補助
- ・補助金・助成金 自治体や企業からの運営補助
- ・施設入場料 ジオパーク関連施設の入場料
- ・ガイドブック ジオパーク関連ガイドブックの販売
- ・商品販売 土産品の販売など

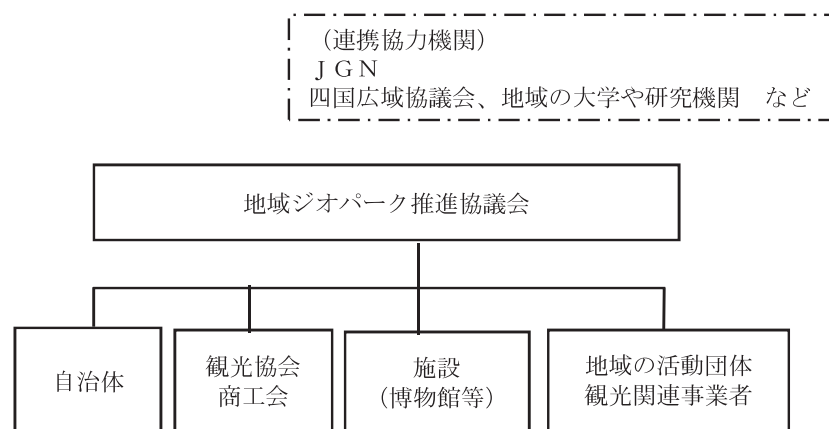
組織化

ポイント:ジオパークを運営する組織を立ち上げる

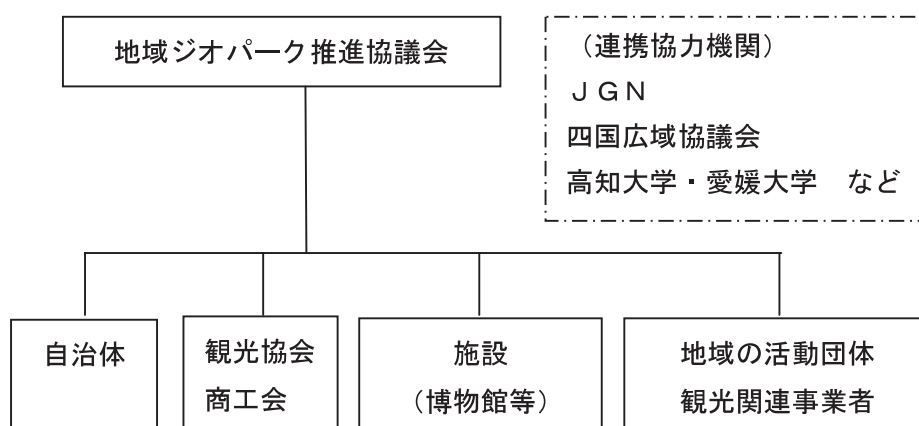
運営組織の立ち上げ

地域の各種団体が参画してジオパークの運営組織を立ち上げる

○運営組織イメージ図



イ 運営組織案

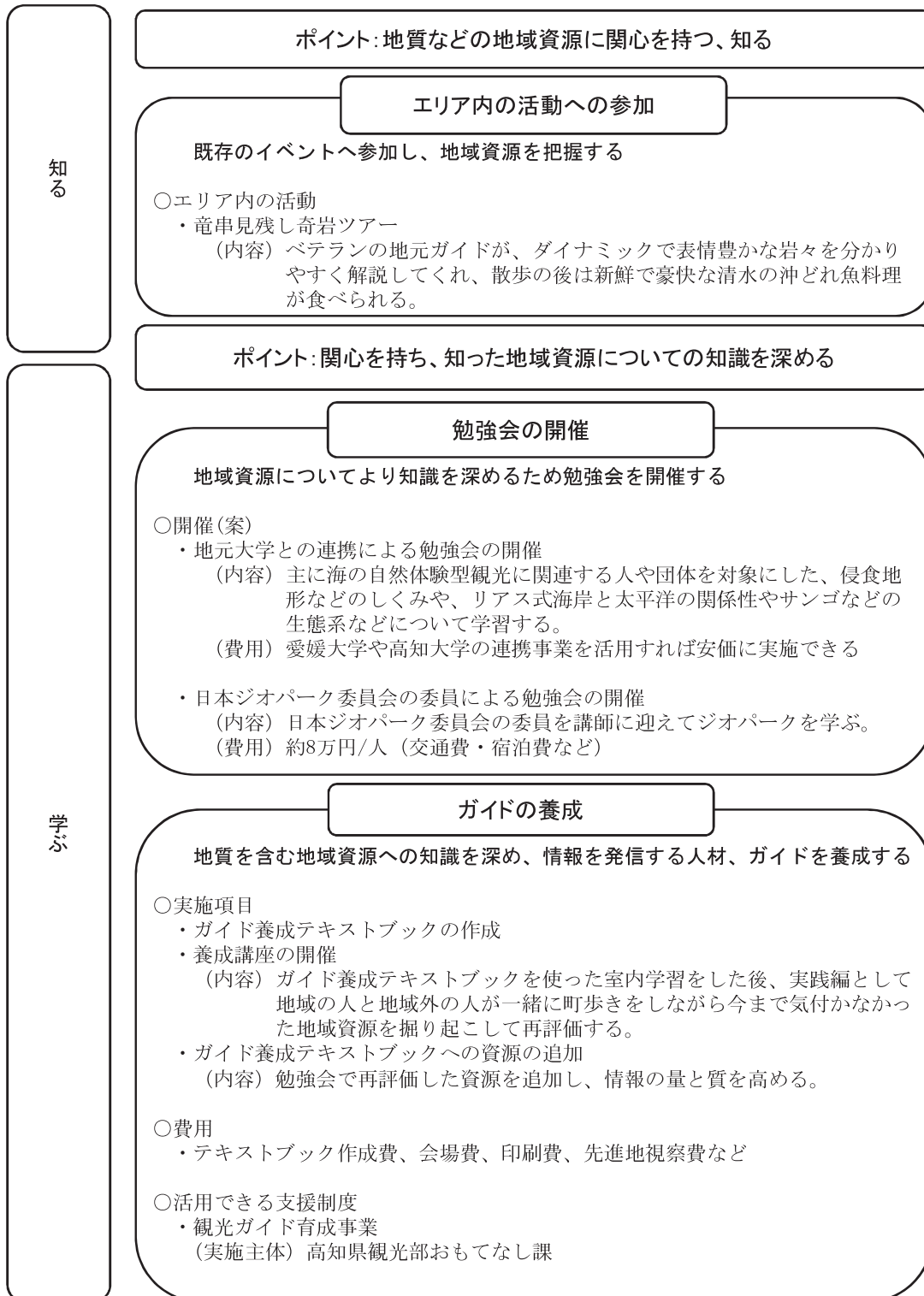


(参考)

エリア内の主な団体	
自治体	宇和島市、愛南町、宿毛市、土佐清水市、大月町
観光協会・商工会	各観光協会、各商工会
施設（博物館等）	足摺海洋館、足摺海底館、海のギャラリー 黒潮生物研究所、黒潮実感センター
地域の活動団体	旧庄屋毛利家を守る会、吉田町並みガイドの会 S G G 善意通訳クラブ宇和島支部 土佐清水市観光ボランティア会、松尾さえずり会 竜串観光汽船、竜串ダイビングセンター 四国西南地域観光連絡協議会、幡多広域観光協議会 大月町体験型観光受入研究会
観光関連事業者	地元観光バス・タクシー会社

(4) 人材育成・ジオツーリズム計画

ア 今後の取り組み



学ぶ

既存のガイドグループとの連携・協力体制の確立

既存のガイドグループと連携協力して、勉強会、ガイド養成、モニターツアーの開催、既存イベントでの実践などを行う

- エリア内のガイドグループ
 - ・旧庄屋毛利家を守る会、吉田町並みガイドの会（宇和島市）
 - ・SGG善意通訳クラブ 宇和島支部（宇和島市）
 - ・土佐清水市観光ボランティア会、松尾さえずり会（土佐清水市）
 - ・竜串ダイビングセンター、竜串観光汽船（土佐清水市）

活かす

ポイント：地域資源のよさ、特徴を伝える

モニターツアーの開催

既存のイベントなどを利用してモニターツアーを実施し、養成した人材を活用する

- 実施項目
 - ・ターゲットの絞り込み
 - ・ルートづくり
 - ・モニターの募集
 - ・ヒアリングやアンケートの実施
- モニターツアー開催（案）
 - ・宇和海と太平洋 2つの海を訪ねるジオツアー
 （内容）主に、都会のシニア層を対象に、海岸の造形と食を満喫するツアー。
 海の宝石真珠の珠入れ体験の後、切り立った断崖のリアス式海岸、不思議な形の竜串や見残し海岸、きめ細かい白浜の大岐の浜、それぞれ美しい海岸線を眺めながら、その土地の新鮮で豪快な海の幸を味わう贅沢な旅。
- 費用
 - ・モニターの交通費、宿泊費、飲食費など
- 活用できる支援制度
 - ・ニューツーリズム創出・流通促進事業
 （実施主体）国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課
 - ・海と川のボランティア助成
 （実施主体）日本財団 海洋グループ
- 参考情報
 - ・ANAより愛媛県宇和島市に地域再生マネージャー派遣
 （内容）総務省の「地域再生支援プラン」の一環として、ANAは、平成19年10月より、愛媛県宇和島市に地域再生マネージャーを派遣している。
 地域再生マネージャーは、客室乗務員を派遣し、ブランド化活動として、宇和島の美しい「海、空、山」をイメージした『CAオリジナルパールジュエリー企画』なども実施している。

売り出す

ポイント:ガイド体制を整え、ジオツーリズムを売り込む

ガイドの組織化

認定や組織のルールをつくり、安定的にサービスを提供できる体制をつくる

- 実施項目
 - ・認定や登録のルールづくり
 - ・受付窓口の整備
 - ・ツアー料金の設定
- 費用
 - ・認定や登録のルールづくりに係る費用

商品化

地域内の資源を使ったツアーを企画して旅行会社などに売り込む

- 実施項目
 - ・ターゲットの絞り込み
 - ・ルート決定、受け入れホテルとの交渉
 - ・料金の決定
 - ・パンフレット作成
 - ・受付窓口の整備
 - ・営業活動

参考事例・情報

○ガイド養成

- ・マイントピアを楽しく育てる会（愛媛県新居浜市）

（内容）平成11年に、第3セクター施設である「マイントピア別子」の活性化を支援する目的で、ボランティア部会が立ち上がった。当初は、毎月1回、マイントピア別子内の学習体験施設（観光坑道や鉱山鉄道など）をフィールドに別子銅山の歴史などを学ぶ学習会（ロコミなどで参加者を募集）が開催された。現在、部会登録しているボランティアガイドは約25名、実際活動をしているのは約10名である。ガイドは、メンバーが交代で毎週日曜日・祝日の10時から15時の間、希望者を対象にガイドを実施している。また、新加入希望者がいたら、勉強会を開催する。ガイド術はテキストブックをもとに個人が各々の得意・特徴を活かしたガイドを展開する。行政の補助はうけておらず、ガイド料も無料である。

- ・山陰ジオパークのボランティアガイド養成講座の開催

（内容）平成21年3月1日に実施された養成講座には約40名が参加した。講座内容は、午前と午後の2部構成で、午後のシンポジウムは元大学教授による基調講演「地質時間尺と玄武洞・山陰海岸」と有識者によるパネルディスカッションが行われた。参加費無料



参考事例・情報

○活用できる支援制度

- (事業名) ニューツーリズム創出・流通促進事業
 (概要) 実証事業の実施により新たな形態の旅行商品に対する旅行者ニーズに関する情報や成功事例を蓄積し、マニュアル・事例集を作成するとともに、普及活動を行うことによる「ニューツーリズム」市場の育成を図る。
 (対象経費) 旅行商品造成のための意見交換・調整等の事務経費、ガイド等の研修経費、リーフレット作成・セミナーの開催等の広報経費、ガイドマップの作成、現地での二次交通の試験運行等の経費等
 (対象団体) 地域の観光関係者（旅行業者を含むものとする）
 (補助率) 定額（約100万円程度を上限とする）
 (連絡先) 国土交通省四国運輸局企画観光部観光地域振興課
<http://www.skt.mlit.go.jp/bunya/kankou/soudan.html>
- (事業名) 海と川のボランティア助成
 (概要) 親子で体験できる魅力的な海洋活動等を支援する。
 (対象経費) 人件費、謝金、交通費、委託費、印刷製本費、広告宣伝費等の直接経費に対する助成
 (対象団体) NPO、ボランティア団体
 (補助率) 90%、上限100万円
 (連絡先) 日本財団 海洋グループ
http://www.nipponfoundation.or.jp/kyotu_site/nendonaisea.html
- (事業名) 観光ガイド育成事業
 (概要) 高知県を訪れる観光客のために高知の持つ観光素材を気持ちよく楽しんでいただくためのガイドを養成する。
 (対象経費) 講師料
 (対象団体) 高知県が直接実施
 (連絡先) 高知県観光部おもてなし課
<http://www.pref.kochi.jp/~omotenashi/>
- (事業名) 広域連携共生・対流等対策交付金
 (概要) 都市と農村の共生・交流などの広域連携事業や都市農村振興を支援する。
 (対象経費) 企画を実現するために直接必要となる経費（詳細は公募要領参照）
 (対象団体) 民間団体（公募）
 (補助率) ①都市と農村の広域連携プロジェクト等の支援（ソフト）定額
 ②共生・対流の一層の推進と都市農業振興のための条件整備（ハード）定額（1/2以内）
 (連絡先) 農林水産省農村振興局企画部農村政策課
<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/kouhukin/index.html>

○地元大学との連携

- ・高知大学
 (内容) 国際・地域連携センター生涯学習部門では、高知県の市町村教育委員会と提携し、出前公開講座などの講座を開講しており、内容に応じて教授などとの調整を行ってくれる。
<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/>
- ・愛媛大学
 (内容) 愛媛大学では、地域社会の方々に向けたさまざまな活動や、自治体、民間企業との共同研究を積極的に行っている。愛媛大学地域創成研究センターでも、地方自治体と取り組み多数有り。センターに相談すれば、適切な研究会、組織をピックアップし、仲介してくれる。
<http://www.rci.ehime-u.ac.jp/community.htm>